

第 10 回理事会

9 月 3 日 午後 5 時 03 分～8 時 10 分

木下会長、三浦・吉本副会長、杉山専務理事、濱本・西村・弘山・小田・田中（義）各常任理事、萬・田中（豊）・田村・河村・柴山・城甲・茶川各理事、青柳・山本・武内各監事

協議事項

1 新規第一号会員研修会並びに保険指導（集団）について

11 月 1 日（日）に開催する新規会員研修会の日程、担当者及び対象者を決定した。保険指導に関しては、中国四国厚生局の管轄である。

2 高次脳機能障害者支援体制資源調査の実施について

平成 19 年 2 月に山口県身体障害者福祉センター内に高次脳機能障害に関する専門相談窓口が設置され、この度、高次脳機能障害の支援に係わる医療や福祉サービス等の支援体制に関する現状や課題等を把握することを目的に、県健康福祉部では、県内の医療機関などを対象にした資源調査が実施されることになり、調査回答の協力依頼があった。調査対象機関は県内の救急・脳神経外科など（救急・急性期）97 機関、リハビリテーション科・精神科・神経内科など（回復期・維持期）355 機関の病院・診療所及び福祉施設等、市町。協議の結果、各郡市医師会長に対し関係医療機関の回答協力について依頼通知することが了承された。

3 乳幼児健康診査の参考単価について

乳幼児健康診査の平成 22 年度の参考単価（案）は、前回の理事会で承認され、参考単価案を各郡市医師会に提示した。その結果、今回ほとんどの郡市医師会です承の回答を得たため、本案で各市町に提示することが了承された。

4 7 月 21 日大水害に係る義援金について

前回の理事会において県医師会の協力について協議、決定したが、その後の状況により追加支援を行うことについて諮り、承認された。また、義援金の配分委員会のメンバーに、木下会長に就任してほしい旨の連絡があったことを説明、承認。

5 女性医師育児支援事業について

事業の一環として、山口県医師会保育サポーターバンクを設置、運営するこ

とが承認され、バンク実施要領・運営委員会規則について協議、承認された。

6 おいでませ！山口国体（第 66 回国民体育大会）及びおいでませ！山口大会（第 11 回全国障害者スポーツ大会）に対する募金活動について

9 月を「募金推進強化月間」として募金活動を積極的に推進することについて了承された。

7 医療機関に係る土砂災害警戒区域等の状況調査について

厚生労働省から各都道府県に対し医療機関に係る土砂災害警戒区域等の状況調査依頼があるが、山口県では「風水害対処計画」の策定状況を 7～8 月に実施しており、その結果をもって対応し、新たに調査を実施しないことが県から報告があった。「風水害対処計画」の策定結果については、県の公表について誤解が生じない対応を県へ要請することとした。

人事事項

1 山口県新型インフルエンザ対策協議会委員について

山口県健康福祉部から協議会設置に伴う委員推薦依頼があり審議、本会濱本常任理事と福田信二先生（宇部市医師会長）を推薦することを決定。

2 日本医師会財務委員会委員について

中国四国医師会連合委員長（島根県医師会長）から、日本医師会に新たに常設となる財務委員会委員の推薦依頼があり、杉山専務理事を推薦することについて諮り、承認された。

報告事項

1 新公益法人制度説明会（7 月 23 日）

日医総研主任研究員 角田 政氏による「新公益法人制度への対応について～新制度の概要、医師会事業の公益性、機関設計～」、トーマツコンサルティング株式会社 伊藤和政氏による「移行申請準備の実務」の講義を開催した。参加者は 50 名であった。（柴山）

2 医事案件調査専門委員会（7 月 23 日）

病院 3 件の事案について審議を行った。（小田）

3 日医第 5 回男女共同参画フォーラム（7 月 25 日）

テルモ株式会社上席執行役員、テルモハート社取締役会長兼 CMO 野尻知里氏

の「私の 50+年史：ある心臓外科医の生き方」と題した基調講演があり、女性医師の勤務環境の現況に関する調査報告、日医女性医師支援センター事業の報告があった。

つづいて、4名のシンポジストによる「今、医師の働き方を考えるーともに仕事を継続するためにー」と題したシンポジウムが開かれ、総合討論の後、宣言を採択し閉会した。(田村)

4 第12回糖尿病地域医療研究会総会(7月25日)

糖尿病医療連携の新たな展開をテーマに東京で開催。パネルディスカッション「山口県宇部・小野田地区における糖尿病地域医療連携(クリティカルパス)の試み」について藤井新也先生(宇部市)が報告された。(弘山)

5 「地域医療再生基金」に係る協議会(7月26日)

日本医師会からの開催要請により岡山で開催。「地域医療再生基金」に係る質疑に対し、中国四国各県医師会及び日本医師会が意見交換した。(弘山)

6 山口県報道懇話会との懇談会(7月28日)

木下会長、報道懇話会幹事である読売新聞山口総局長の挨拶ののち、県医師会から「医療費削減政策からの転換」について説明、報道懇話会からの「豪雨災害での医療活動、事故発生時の救急対応などの現状や見解」等の議題について、意見交換を行った。(田中義)

7 山口県社会保険診療報酬支払基金幹事会

(7月29日)

支払基金における審査状況、オンライン請求に係る「状況届」の集計結果等について報告があった。(木下)

8 中国地方社会保険医療協議会山口部会

(7月29日)

医科では新規1件(移転)が承認された。(三浦)

9 日本スポーツ振興センター業務運営委員会

(7月29日)

事業の推進状況、災害共済給付状況等について協議した。(田中豊)

10 第1回自賠責医療委員会・第69回山口県自動車保険医療連絡協議会(7月

30 日)

2 件の未解決事例について協議。引き続き自動車保険医療連絡協議会を開催。損調部会会員会社 10 社及び損保料率算出機構が出席、個々の未解決事例について処理結果・経過をそれぞれ報告。

(小田)

11 個別指導「下関地区」(7 月 30 日)

診療所 4 機関について実施され、立ち会った。

(西村)

12 医療・保険研究会 (7 月 30 日)

下関市医師会において開催。中央情勢、医療保険、医療事故防止について説明。また、会員からの質疑について協議した。(西村)

13 第 1 回郡市医師会特定健診・特定保健指導担当理事協議会 (7 月 30 日)

特定健診実施状況(速報値)で山口県の受診率 20.13%は全国平均より低いことを報告。今年は受診券をすでに配付済みのため広報に努めたい。また、来年度の幹事担当をどこにするか協議した。

(田中豊)

14 勤務医問題対策懇談会〔「長門市」(7 月 31 日)、「山口市」(8 月 12 日)、「宇部市」(8 月 17 日)〕

21 年度勤務医・女性医師対策等について意見交換を行い、勤務医の医師会加入について、各病院長と懇談を行った。(木下)

15 第 2 回生涯教育委員会 (8 月 1 日)

日医生涯教育協力講座セミナーについて、全体のマネジメント、開催場所・時期について協議。つぎに、生涯研修セミナーの企画について協議、22 年度のテーマ案について意見が出された。(杉山)

16 山口県臨床研修医交流会第 2 回打合会

(8 月 1 日)

6 月 28 日につづく第 2 回目の打合会を開催、交流会全体構想、役割分担、シンポジウム、参加者について協議を行った。(小田)

17 第 22 回全国有床診療所連絡協議会総会

(8月1日～2日)

熊本県で開催。唐澤日医会長は「有床診療所のニーズはあるが、適正な診療報酬の設定がなされていない」と挨拶された。来年度は岡山県有床診療所協議会の担当で、平成22年7月31日(土)～8月1日(日)開催。(河村)

18 スポーツ医学研修会、スポーツ医部会総会、健康スポーツ医学実地研修会
(8月2日)

国体における医療従事者の役割では、今後望まれるメディカルチェックやドーピングについて、また運動器不安定症に対しては高齢者向けのリハビリ実技があった。(城甲)

19 医事案件調査専門委員会(8月6日)

診療所1件の事案について審議を行った。(小田)

20 山口県緩和ケア医師研修会連絡会議(8月6日)

今年度は研修会を2回実施する。1回目がある10月11日と12日に開催されるためファシリテータによる事前打合せを実施した。(弘山)

21 女性医師参画推進部会第2回理事会(8月8日)

開会・部会長挨拶につづき新任保育相談員の紹介を行い、9月27日(日)宇部市において開催の総会の内容及び役割分担、保育サポーターバンクについて協議した。引き続きWGから、それぞれの活動報告があった。(田村)

22 山口県医師会警察医会役員会・総会・第5回研修会(8月8日)

役員会では、総会の議事運営、多数死体発生時のアンケート結果について協議、つづいて総会を開催。研修会は、藤宮教授の「死体検案とは－異状環境、嬰兒、中毒－」について講演があった。次回開催の第6回研修会は、1月23日(土)にホテルニュータナカで行い、終了後懇親会を行うことになった。(弘山)

23 第1回山口県糖尿病療養指導士講習会
(8月9日)

今年度第1回目で開講式開催後、「糖尿病の療養指導と療養指導士の役割」ほか3題の講義。最後に確認テストを実施した。受講者195名。(田中豊)

24 山口刑務所下関拘置支所視察(8月13日)

施設の運営方針、敷地及び建物の概況、収容定員及び収容人員の推移等について説明を受け、視察を行った。(萬)

25 都道府県医師会有床診療所担当理事連絡協議会 (8月19日)

日本医師会が本連絡協議会を開催するのは今回初めて。喫緊の課題として入院基本料の底上げが必要との大方の認識であった。(河村)

26 第53回社会保険指導者講習会

(8月20日～21日)

「がん診療 update」を主題に日本医師会館において開催され、本会から5名の担当役員が参加した。詳細は次月会報に掲載。(西村) ★

27 日医初級パソコンセミナー (8月22日～23日)、ORCA体験・研修会 (8月23日)

インストラクター3名により、初級パソコンカリキュラムに則りグループ学習を開催した。日医における17年度事業開始以来、今回で2度目の開催である。

また、ORCA体験・研修会を開き、日医総研西川主任研究員に「日医標準レセプトソフトの取り組み」「レセプトオンライン請求の実際の方法」について解説・講演をいただき、ORCA取扱い業者の協力による実技講習を行った。(田中義・柴山)

28 第40回中四九地区医師会看護学校協議会

(8月22日～23日)

唐津看護専門学校の引き受けて開催。「地域医療と看護教育」をテーマに協議・研修等が行われた。(茶川)

29 山口県臨床整形外科医会創立25周年記念式典 (8月23日)

祝意を表し乾杯の挨拶を行った。(木下)

30 山口銀行との懇談会 (8月24日)

医療、経済等について懇談を行った。有意義な会であった。(杉山)

31 山口県社会保険診療報酬支払基金幹事会

(8月26日)

幹事会参与の委解嘱、オンライン請求に係る「状況届」の集計結果等、資格関係誤りレセプト発生防止の連絡強化月間の取り組み等について報告があった。

(木下)

32 中国地方社会保険医療協議会山口部会

(8月26日)

医科では新規2件(組織変更1件を含む)が承認された。(三浦)

33 社保国保審査委員合同協議会(8月27日)

協議題4題、会員からの意見要望14題について協議を行った。協議結果は本会報(ブルーページ)に掲載。(萬) ★。

34 救急フェア・AED講習会打合せ(8月27日)

9月10日開催される救急フェア in 宇部の記念行事、表彰式参列者及びAED心肺蘇生法講習会の内容を確認した。(弘山)

35 新型インフルエンザ対策本部会議(8月27日)

山口県新型インフルエンザ対策行動計画の改定について、また、かかりつけ医を中心にした医療体制の進め方について協議した。(濱本)

36 医療廃棄物三者協議会(8月27日)

改訂版「感染性廃棄物処理指針」及び「廃棄物処理における新型インフルエンザ対策ガイドライン」への対応等について協議した。(西村)

37 日本医師会医事法関係検討委員会(8月28日)

「対GDPにおける医療費水準の引き上げ」「医療保険の一元化問題」等について討議を行った。

(小田)

38 勤務医部会第2回企画委員会(8月29日)

21年度事業として、中堅医師を囲む座談会、勤務医部会主催のシンポジウム(22年2月14日開催)のテーマ・参加者・司会者について協議を行った。また、防府医師会及び萩市・長門市医師会担当で開催の市民公開講座の状況について報告があった。(城甲)

39 第1回山口県臨床研修医交流会

(8月29日～30日)

県内臨床研修医(2年目19名、1年目29名)、臨床研修指定病院病院長、指

導医等 22 名、医学部医学科学生等総勢 98 名の参加により交流会を開催した。講演、シンポジウム（グループ討議）、各班の発表を行い、その後懇談。翌日もシンポジウムを開催した。県内 5 ブロック基幹研修病院から推薦を受けた 2 年目の研修医に交流会幹事として企画運営に携わっていただいた。参加者から、大変有意義な交流会であった、明年度も継続してほしいという意見が出ていた。（小田）

40 第 17 回中国四国医師会共同利用施設等連絡協議会（8 月 29 日）

島根県医師会の引き受けで開催。「ストップ 地域医療崩壊」をテーマに益田地域医療センター医師会病院院長他 2 名による研究発表と飯沼日医常任理事による「新型インフルエンザ(H1N1)の教訓」と題した特別講演があった。（西村・田中豊）

41 「医療仲裁センター岡山」設立記念シンポジウム（8 月 29 日）

基調講演「医療 ADR に期待するもの」（講師：自治医科大学医療安全対策部 長谷川 剛教授）及びシンポジウム「対立から対話へ ～納得のいく解決に向けて～」が行われた。岡山弁護士会が設立したもの。（吉本）

42 日本医師会男女共同参画委員会（9 月 2 日）

女性医師支援センター事業、第 5 回男女共同参画フォーラムの反省・報告書について等、審議を行った。第 6 回フォーラムは 22 年 7 月、鹿児島県が担当で開催、市民への公開講座とされる予定。また、答申作成に向けた議論も開始した。（田村）

43 広報委員会（9 月 3 日）

会報主要記事掲載予定、歳末放談会の司会者とテーマ、特別講演会・座談会の司会・出席委員について協議を行った。防府市の豪雨災害では県内の DMAT3 チームが出動、急遽 9 月号の特集とした。（柴山）

44 会員の入退会異動

入会 7 件、退会 7 件（死亡退会含む）、異動 6 件〔9 月 1 日現在会員数：1 号 1,331 名、2 号 924 名、3 号 494 名、合計 2,749 名〕

互助会理事会 第 5 回

1 傷病見舞金支給申請について

1 件について協議、承認。